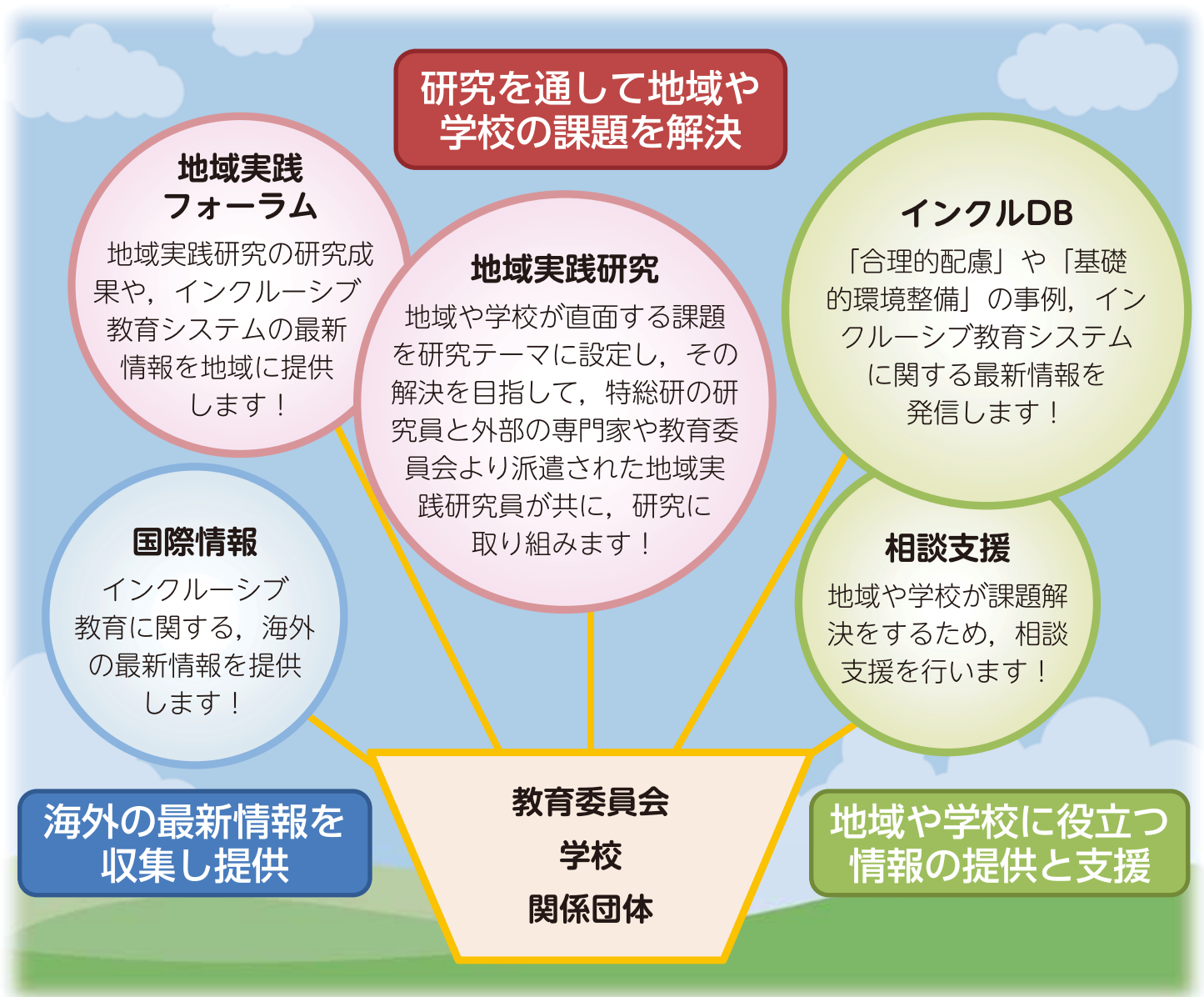


# 平成28年4月 インクルーシブ教育システム推進センター を設置しました

わが国におけるインクルーシブ教育システムの構築を一層推進するには、地域の課題を解決し、取組を推進することが不可欠です。国立特別支援教育総合研究所では「インクルーシブ教育システム推進センター」を設置し、地域実践研究や国内外の情報提供、相談支援を通して、**地域や学校の取組を強力にバックアップ**していきます。



# 「地域実践研究」を通して 地域の課題解決に取り組みませんか？

## 「地域実践研究」とはどのようなものですか？

- ・インクルーシブ教育システム構築に向けて地域や学校が直面する課題を研究テーマとして設定し、地域と協働して課題の解決を目指します。
- ・地域実践研究に関する費用や研究成果の地域への普及に関する費用は、原則として研究所が負担します。
- ・募集は毎年行っており、毎年申請していただけます。10月頃に都道府県・指定都市の教育委員会に要項をお送りします。
- ・地域実践研究員の派遣期間は原則として1年間です。

## どのような研究をするのですか？

今後は以下のテーマで地域実践研究を募集する予定です。

- ・地域におけるインクルーシブ教育システムの構築に関する研究（H28～29年度）
- ・インクルーシブ教育システム構築に向けた研修に関する研究（H28～29年度）
- ・教育相談、就学先決定に関する研究（H31～32年度）
- ・インクルーシブ教育システムの理解啓発に関する研究（H30～31年度）
- ・交流及び共同学習に関する研究（H28～29年度）
- ・教材教具の活用と評価に関する研究（H28～29年度）
- ・多様な教育的ニーズに対応できる学校作りや指導改善に関する研究  
(H29～30年度)
- ・学校における合理的配慮及び基礎的環境整備に関する研究（H30～31年度）

これらのテーマに関連する各都道府県・指定都市の課題について、地域との連携を図りながら研究に取り組めます。

## 研究に参加するとどのようなメリットがありますか？

- ・地域実践研究に参画することで、インクルーシブ教育システム構築に向けて地域や学校が直面する課題の解決に特総研の研究員が共に取り組みます。
- ・研究成果を普及するセミナー等を特総研と共に地域で開催することができます。研究成果やインクルーシブ教育システムの最新情報を提供することで、地域の理解・啓発を推進する機会となります。
- ・地域実践研究員は研究所でおこなっている専門研修の受講をすることもできるので、地域のインクルーシブ教育システムの推進に活躍する人材育成の機会にもなります。

